

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 唐原

## 目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 12 月 03 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員全員で考えたホーム独自の理念があるが、職員一人ひとりが理念の意義や、意識した介護になっていないので、時には、確認のために唱和したり、理念に基づいた介護の実践に取り組んでいく。	理念のない介護は、船頭のいない船と一緒に、目標設定が難しくなるので、職員一人ひとりが常に理念を意識し、迷ったり、悩んだ時も、理念を振り返り、初心に帰って、利用者本位の介護サービスの提供に取り組んでいく。	6ヶ月
2	51	日常的な外出支援	毎月外出レクを取り入れて出掛けているが、利用者の行きたいところや、日常的な散歩等も今後の課題として取り組んでいく。	現在の職員数で日常的な散歩や外出を行うためには、職員の勤務体制の見直しや、職員数の問題もあり、散歩時のボランティアや家族の協力を得て、利用者の気分転換に繋がる、外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。